

【議案第 23 号】

令和 8 年度浜田市一般会計予算

私は、議案第 23 号令和 8 年度浜田市一般会計予算について、附帯決議を付すことを前提に本予算案に賛成の立場で討論を行います。

先ほど森谷議員からのご指摘をいただきましたが、それは後程述べさせていただきますと考えております。

まず、本予算は総額 427 億 4000 万円であり、物価高騰や人件費上昇など、厳しい財政環境の中で編成されたものであります。

子供医療費の高校生年代までの無償化や、産後ケア事業の拡充、5 歳児健診の実施など子供を取り巻く環境整備に積極的に取り組まれています。

また、市民生活にも直結する施策においても多様な施策を予定されており厳しい財政環境の中でも市民生活を守ろうとする三浦市長の姿勢は明確にあらわれていると受けとめています。

一方で、先ほど森谷議員も言われたように今回の予算審議を通じ本市の福祉行政の運営の仕組みについて課題も明らかになりました。

社会福祉協議会助成事業では、人件費補助として約 1 億 2000 万円が計上されていますが、人件費補助の積算根拠、事業ごとのコスト構造、事業の成果、こうした点について議会に対する説明が十分とはいえない状況にあります。

また、福祉分野では入札や公募を行わず、委託基準も明文化されないまま慣例によって業務委託が続け続けられている実例事例も見受けられました。

行政において公費を用いる以上なぜその団体なのか、成果は何か、こうした問いに市民へ説明できる仕組みが必要であります。

それが十分でなければ慣習で行政が行われているのではないかという疑念を市民に抱かせかねません。

私はこの問題を浜田市の福祉行政の信頼に関わる重要な課題であると受けとめています。

しかしながらこのことをもって社会福祉協議会そのものを否定する議論に私は組みません。

地域福祉は行政だけで担えるものではなく、生活困窮支援や、地域づくりなど社会福祉協議会が果たしてきた役割は大きいものがあります。

問題は存在そのものではなく、運営の透明性と説明責任のあり方であります。

社会福祉協議会には、福祉基金約 1 億 6700 万円が積み立てられています。

まずはこの基金を活用し組織体制の見直しや、事業評価の仕組みづくり、透明性の確保など体制整備に取り組むことが、市民に対する責任であると考えます。

## 令和 8 年 3 月定例会議 足立 豪議員 賛成討論

浜田市社会福祉協議会を否定するのではなく、より透明で信頼される地域福祉の体制へと改革していく、その出発点としてこのたびの予算は大きな意味があると考えています。

行政には、福祉分野の業務委託制度の整理、委託基準の明文化、事業評価の仕組みの確立など、公平性と透明性の確保に真剣に取り組むことを強く求め、令和 8 年度浜田市一般会計予算に賛成することを申し述べたいと思います。

そして、先ほど森谷委員が言われたことも一理あるとは思いますが、そこは社会福祉協議会の存在のぜひを取るのではなく、制度としてきちんとできているのか、そうしたところをこれから先しっかりと我々議会側で監視し、私たちも見続ける必要があると考えています。

社会福祉協議会自体がこれから先この浜田市においても重要な位置付けであることは変わりません。

今回の予算のことだけで必要性があるか否かということ进行問うのではなく、これから先、私たちが一緒になってよりよい地域福祉を担う 1 番手として社会福祉協議会が、これから先も存続し、透明性を確保できる、そうした団体に一緒になって皆さんと取り組んで参りたいと思います。

そうした意味も含め令和 8 年度浜田市一般会計予算について賛成の討論とさせていただきます。